

生徒指導計画

1．学校重点目標

豊かな心で、創造的・自主的に活動し、粘り強くやり遂げる児童の育成

2．指導内容

児童理解を深め、諸活動を通して学年の発達段階に応じた指導の充実をはかる。また、集団の一員としての自主的実践力を高め、望ましい人格の形成を目指し、その資質を身につけるための基礎として、基本的な生活習慣の確立を目指す。

3．指導実践の視点

(1) 児童理解

学級担任はもとより、全教師があらゆる場で一人ひとりの実態を把握し、指導事項等を随時話し合いながら、全教職員の共通理解のもとに指導にあたる。

(2) 個別指導

日常の観察や日記指導により、問題を発見し、学級担任および生徒指導係が個々に応じた指導を行う。

(3) 特別指導

縦割り班による諸活動（委員会活動・児童会活動・班活動・清掃活動・分団活動）の場において、学年の発達段階に応じた指導を図る。

(4) 学級指導

高学年を中心に、学年ごとに集団活動における役割等について指導する。

(5) 家庭・地域との連携

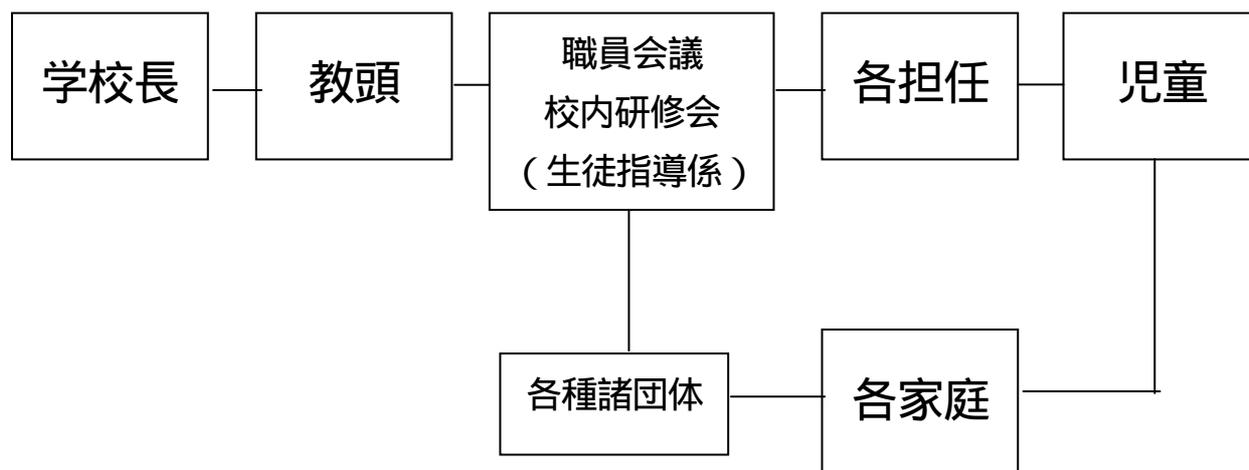
家庭訪問や懇談会、学級通信等を通して保護者への啓発をはかり、保護者と教師が児童に関して共通理解を持って互いに連携を密にし、同じ視点で指導できるようにする。

(6) 関係諸機関との連携

教師のカウンセリングマインドを磨き、日々の活動に生かす。

福祉・医療等の関係機関との連携を密にする。

4 . 指導組織



5 . 年間指導計画

	具体的指導内容
一 学 期	○自分を知ろう ・ 児童の実態把握 ・ 班および委員会の組織確立 ・ 一人ひとりの集団における役割を自覚させる。
二 学 期	進んで集団活動に参加しよう。 ・ 個々の児童に応じた個別指導 ・ 集団の一員としての自覚を高め、活動に積極的に参加させる。
三 学 期	○自己とともに集団を高めよう。 ・ 個々の実態に応じた個別指導 ・ 集団全体を考えて、自主的に諸活動を企画・運営させる。

各学期を通して基本的な生活習慣の育成（学校内の安全、交通安全、挨拶等）を図る